1. 授業の概要(ねらい)

【選択科目】【特別支援教育に関する科目・特別支援教育領域に関する科目・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目】
 障害児は、「子どもとしての心理的傾向と問題」と「障害に関する心理的傾向と問題」の2つの心理を持っていると考えられる。「障害に関する心理的傾向と問題」には、「障害に共通する心理的傾向と問題」と「障害に独自の心理的傾向と問題」の2つの種類がある。「障害児(肢)の心理」では、肢体不自由児の心理についてその理解の方法と「障害児に共通する心理的傾向と問題」について論じられるが、本講義は、知的障害児を中心に肢体不自由児、病弱児、視覚障害児、聴覚障害児、発達障害児並びに言語障害児などの障害児の「障害に独自の心理的傾向と問題」に関する理解を養う。なお、知的障害児の心理に関しては、心理特性に影響する障害の原因や脳の生理と病理について述べる。

2. 授業の到達目標

・知的障害児、肢体不自由児、病弱児、視覚障害児、聴覚障害児、発達障害児並びに言語障害児について、それぞれの障害の定義・概念、分類、原因・症状、心理的特性について説明することができる。
 ・障害児の「障害に独自の心理的傾向と問題」に関する理解を深め、支援のあり方について自分の意見を述べるができる。
 また、脳の生理・病理について、脳各部の機能を説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

演習課題(第1講～第14講)70%、レポート課題15%、論述課題(第15講)15%により総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

特定のテキストは使用せず、授業内で資料等を配布する。

参考文献

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 障害のある子供の教育支援の手引
 “子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて” 文部科学省ホームページからダウンロード

5. 準備学修の内容

授業で触れる各障害についての参考文献を読んで、基本的な知識をもって授業に参加すること。

6. その他履修上の注意事項

前提条件として履修すべき科目:「知的障害教育概論」を修得していることが望ましい。
 障害児理解のための観察者の視点、対話者の視点及び共感者の視点をもってほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション(授業の目的、内容、進め方、評価方法、参考書等について)
 知的障害児を中心とした障害児の独自の心理的傾向と問題
- 【第2回】 【知的障害児】
 1)知的障害児の心理的傾向と問題① 知的障害の定義・概念
- 【第3回】 2)知的障害児の心理的傾向と問題② 脳の生理と病理
- 【第4回】 3)知的障害児の心理的傾向と問題③ 知的障害児の分類と原因・症状
- 【第5回】 4)知的障害児の心理的傾向と問題④ 知的障害児の心理的特性について
- 【第6回】 5)知的障害児の心理的傾向と問題⑤ 知的障害児の心理的援助について
- 【第7回】 【肢体不自由児】
 1)肢体不自由児の心理的傾向と問題① 脳性まひ児の知的機能と行動特性
- 【第8回】 2)肢体不自由児の心理的傾向と問題② 筋疾患・脊椎疾患の肢体不自由児の心理特性と支援
- 【第9回】 【病弱児】
 病弱児の心理的傾向と問題
 入院と病弱児の心理
- 【第10回】 【視覚障害児】
 視覚障害児の心理的傾向と問題 聴覚による手がかりと障害物知覚など
- 【第11回】 【聴覚障害児】
 聴覚障害児の心理的傾向と問題 聴覚障害児のパーソナリティなど
- 【第12回】 【その他の障害児】
 1)発達障害児の心理的傾向と問題① 自閉症スペクトラム障害
- 【第13回】 2)発達障害児の心理的傾向と問題② 学習障害と注意欠陥・多動性障害
- 【第14回】 3)言語障害児の心理的傾向と問題 言語障害児の心理特性
- 【第15回】 まとめと論述課題